

北条義時ゆかりの地を巡る

伊豆の国市  
**北条家**  
ゆかりの地マップ



北条義時とは

北条義時は伊豆の国市に生まれ、源頼朝の挙兵、鎌倉幕府創立に尽力した人物です。姉は鎌倉殿である頼朝の妻政子です。頼朝亡き後は政子と協力して、2代将軍頼家、3代将軍実朝を盛り立て、鎌倉幕府を磐石のものに上げていきました。



1 北条義時館跡



『増訂豆州志稿』(そうていずしゅうしこう)に、「南江間村町屋ニアリ尋常小学校ノ敷地トナル」と書いてあるので、この周辺に義時の館があったと推定されています。現在は江間公園として整備され、その一角に「北條義時屋敷跡」の碑が建っています。



2 義時ゆかりの北條寺



義時が建立し、時政・政子も信仰したと言われる北条家とゆかりの深い寺です。阿弥陀如来坐像(県指定文化財)は慶派の作で、義時が建立したと伝えられています。境内には、北条義時夫妻の墓が建っています。夫人は、「伊賀の方」のことです。



3 義時が再建 豆塚神社

延喜式内社「石徳高(いとこたけ)神社」に該当する古い神社です。元文5年(1740)の梁銘(りやうめい・はりめい)に、「義時が小池堀丸山にあった社殿を現在の場所に移し再建した」と記されています。



由緒書によれば、元久元年(1204)に義時が安千代の死を嘆き、若宮八幡神として祀った社がはじまりと伝えられています。



4 池田の大蛇伝説

江間いちご狩りセンター周辺にはかつて池があり、義時の子安千代を襲った大蛇の伝説があります。



5 義時が経を納めた大師窟

大師窟とは7～8世紀につくられた横穴墓(北江間横穴群大師山)のことです。後に義時がお経を納めたという伝説があります。



7 安千代が学んだ寺 千葉寺

千代田団地公園の北側に、安千代が学んだ千葉寺があったと言われています。現在は住宅地となっていて、「寺洞(てらほら)」という古地名が残るのみです。

池田の大蛇伝説

江間の池田(現在の伊豆中央道江間料金所周辺)には、かつて大蛇の棲む池があったとされています。北条義時の長男安千代は千葉寺へ勉学のため通っていました。ある日、池のほとりを歩いていると、突然大蛇が現れて安千代を呑みこんでしまいました。知らせを聞いた義時が弓矢で戦いましたが、大蛇の目を射ただけで、安千代を助けることができず、安千代は死んでしまいました。2匹の大蛇は、日守山に向かい、男坂・女坂を越えて逃げました。

八重姫の悲話

伊東祐親の娘八重姫は、流人として伊豆で暮らしていた源頼朝と結ばれ、千鶴丸という子が生まれました。しかし、父祐親は、当時権勢を誇っていた平氏を恐れ、二人を引き裂き、千鶴丸を殺してしまいました。やがて頼朝は北条時政の娘政子と結ばれ、北条の地で暮らすようになりました。それを知った八重姫は、悲嘆のあまり川に身を投じて亡くなりました。現在、真珠院にある八重姫御堂(静堂)は、八重姫を供養するために建てられたお堂で、以前は北側の満願寺(庵寺)にあったと言われています。「梯子があれば八重姫を助けられた」と、梯子を奉納する慣習が現在でも続いています。また、八重姫の侍女たちが自害したと伝えられる場所が浮橋にあり、「女塚」が建てられています。



北条家ゆかりの地を巡る 政子コース



1 北条政子の産湯の井戸

「北条政子の産湯に使った」という伝承のある井戸です。史跡北条氏邸跡に近接するこの一帯も北条家の館であったと思われます。



3 真珠院 八重姫御堂(静堂)

真珠院には、頼朝の最初の妻、八重姫を供養する御堂があります。八重姫は「真珠ヶ淵」(古川が狩野川)に身を投げたと伝えられています。



5 頼朝ゆかりの寺 光照寺

源頼朝の子、2代将軍頼家ゆかりの「病相の面(びょうそうめん)」があります。修善寺に幽閉された頼家の様子を、母政子に知らせるために製作されたと言われています。



8 香山寺 山木兼隆供養塔

山木兼隆が創建したと伝わるお寺です。この地で滅ぼされた兼隆を偲び、供養塔が建立されました。



2 北条時政の館跡 史跡北条氏邸跡(円成寺跡)



発掘調査によって北条家の館跡が明らかになりました。鎌倉時代の建物跡や井戸がみつき、中国陶磁器やかわらけなどが多数出土しました。遺跡の年代から時政の館と考えられます。北条氏滅亡後は、ゆかりの尼僧により一族を鎮魂する円成寺が建てられました。



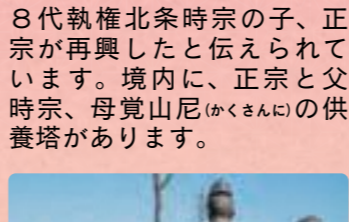
4 北条家の氏寺 願成就院



北条家の氏寺として時政が建立し、義時・時泰の3代にわたり堂塔伽藍の造営がなされ、大きな池を配した壮大な浄土様式の寺院でした。地元で政子地蔵と慕われている地蔵菩薩像、また創建時の御尊像である国宝・運慶作5体の仏像は拝観ができます。境内には、時政の墓があります。



6 義時子孫の寺 成福寺



8代執権北条時宗の子、正宗が再興したと伝えられています。境内に、正宗と父時宗、母覚山尼(かくさんに)の供養塔があります。



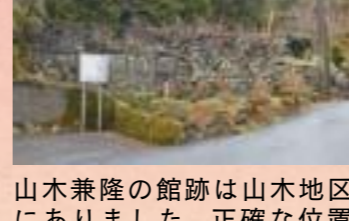
9 餅売り堀の墓成願寺

源頼朝が三島神社に百日参りをして時政の時、餅を差し上げたお婆あさんの墓があります。



7 蛭ヶ島 頼朝政子像

源頼朝の配流地と言われる蛭ヶ島には、それを伝える碑があります。頼朝・政子が富士山をみつめる「蛭ヶ島の夫婦(むたごい)」の像が建っています。



10 山木兼隆館跡推定地

山木兼隆の館跡は山木地区にありました。正確な位置はわかりませんが、「天満坂の上」、「上ノ山」にあったと伝えられています。

足をのばして

郷土資料館へ!!

伊豆の国市立中央図書館2階で開館しており、市内の遺跡から出土した土器や石器、寄贈を受けた民具等の展示など、市内の様々な文化財が紹介されています。

伊豆の国市郷土資料館

住所：静岡県伊豆の国市三福253-1  
電話番号：0558-76-5678  
開館時間：午前9時～午後4時30分まで(入館無料)  
※毎週月曜定休日  
駐車場：あり



遺跡から出土した展示品

中国産の天目茶碗



史跡北条氏邸跡(円成寺跡)より出土した中国産のお茶の器です。ほかに、館では中国から輸入された陶磁器が大量に出土しています。

宝珠型水晶製品



史跡北条氏邸跡(円成寺跡)では宝珠形の水晶製品など、寺院の儀式や生活に関わりの深い遺物が多く出土しています。

いずなかシェアリング

● アプリ表示のステーションでは ●  
● どこでも貸出・返却が可能 ●

シェアサイクルは専用アプリで無料会員登録後、すぐにご利用いただけます。アプリからいつでも電動アシスト付きの自転車の予約が可能。ハローサイクルのシステムのステーションであれば、どこでも借りられてどこでも返すことができます。自転車なら観光スポットを巡りながら、伊豆の国市の雄大な自然を堪能できます。

設置場所	料金
伊豆の国市内 詳細はコチラ→	100円 / 15分 1,500円 / 12時間
定休日	問い合わせ
なし	一般社団法人エリアマネジメント 080-3274-3832 10:00 ~ 16:00 (電話受付時間)

観光・宿泊については  
■ 伊豆の国市観光協会 TEL:055-948-0304  
〒410-2201 伊豆の国市古奈 255

文化財については  
■ 文化財課 TEL:055-948-1428  
〒410-2292 伊豆の国市長岡 346-1

シェアサイクルについては  
■ 一般社団法人エリアマネジメント  
TEL:080-3274-3832

